

下野市

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等のICT環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。あわせて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に取り組むことで、児童生徒が自らの学習形態や学習方法を選択し、自身の特性や理解度、進度に応じて学ぶことができるようにする。こうした取組を通じて、児童生徒が学びの中心となる姿の実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

本市においては、これまで児童生徒1人1台端末の整備とあわせて、校内ネットワークなどの通信環境の整備を進めてきた。また、ICT支援員による助言のもと、授業における端末活用も進んでおり、児童生徒同士で意見交換を行いながら問題解決に取り組む場面も見られるようになっている。

一方で、教職員によるICTを活用した指導に関しては、教職員の意識やスキルに差が見られ、校内や学校間における格差が課題となっている。今後、1人1台端末の更なる利活用を図っていくためには、端末や通信ネットワーク、周辺環境の一層の整備に加え、教職員のICTを活用した指導力の向上が不可欠であると考えている。

3. 1人1台端末の利活用方策

継続的に端末を利活用できるよう、共同調達により計画的に端末を整備・更新し、ICT環境を維持した上で、以下の点に取り組む。

（1人1台端末の積極的活用）

端末の日常的な活用に係る教職員を対象とするICT研修の充実を図る。

（個別最適・協働的な学びの充実）

学習支援アプリやクラウドサービス等の活用を日常的なものとするため、市内の活用事例を教職員間で共有し、教職員を対象とした研修等を通じて、端末の効果的な活用を支援する。

（学びの保障）

端末の持ち帰りを推奨するとともに、不登校児童生徒への支援や、障がいのある児童生徒の状況や特性に応じた支援など、端末を活用した学びの保障に向けた取組を推進していく。